

平成26年3月13日
住友生命保険相互会社

アシスタントドッグ育成支援事業 「身体障害者補助犬健康管理手帳」の寄贈について

住友生命保険相互会社（社長 佐藤義雄）は「アシスタントドッグ育成支援事業」として、平成13年度より身体障害者補助犬※（盲導犬・介助犬・聴導犬）の支援活動に取り組んでいます。

今般、「身体障害者補助犬健康管理手帳」を2千冊作成し、認定NPO法人 全国盲導犬施設連合会に寄贈します。身体障害者補助犬を同伴する際に所持する手帳で、ワクチン接種記録等を記載するなど補助犬の衛生管理のために、補助犬ユーザーに配布してご活用いただきます。

今後も豊かな社会づくりに向け、生命保険事業に加え社会貢献活動にもより積極的に取り組んでまいります。

※「身体障害者補助犬」は、身体に何らかの障がいを持つ人の日常生活を介助するために訓練された盲導犬・介助犬・聴導犬の総称です。なお、「アシスタントドッグ」は身体障害者補助犬と同義で、当社独自の呼称です。

◆ 身体障害者補助犬健康管理手帳について ◆

身体障害者補助犬を同伴する際にユーザーの方が所持する書類です。

<身体障害者補助犬法第12条第2項で定めるとおり>

①記載内容

- ・補助犬の健康管理のための記録欄
（ワクチン接種の記録、フィラリア・ノミ・ダニ駆除の記録、獣医師による健康管理記録）
- ・「身体障害者補助犬の衛生確保のための健康管理ガイドライン（抄）」

②サイズ等

縦125mm×横88mm、52頁

（本文48頁、表紙4頁）ビニールカバー、点字シール付

（点字表記内容：身体障害者補助犬健康管理手帳）



表紙
（点字シール付）

裏表紙

◆ 贈 呈 式 ◆

- ・日時 平成26年3月17日(月) 15時～
- ・場所 住友生命保険相互会社 東京本社(東京都中央区築地7-18-24)
- ・出席者 受領者 認定NPO法人全国盲導犬施設連合会 理事・事務局長 篠田林歌氏
公益財団法人日本盲導犬協会 岩崎祥子氏・ホノ(PR犬)
寄贈者 住友生命 代表取締役専務執行役員 橋本雅博
- ・寄贈品 身体障害者補助犬健康管理手帳 2,000冊

「認定NPO法人全国盲導犬施設連合会」について

日本の盲導犬訓練施設が連合することで盲導犬の普及を全国的に推進し、視覚障がい者の自立と社会参加に貢献することを目的に発足。全国で盲導犬育成事業を行う8施設が加盟している。

(設 立) 平成7年任意団体として発足。平成20年NPO法人設立。平成23年認定NPO法人。

(代表者名) 田上昭一(理事長)

(所 在 地) 東京都新宿区住吉町5-1吉村ビル2階

(主な事業) 1. 盲導犬普及啓発活動 2. 広報誌等の発行
3. 盲導犬受入促進のための活動 4. 盲導犬訓練士、歩行指導員の資格認定
5. 相談事業 6. 盲導犬事業推進のための資金助成事業

(加盟施設) 北海道盲導犬協会・東日本盲導犬協会・日本盲導犬協会・中部盲導犬協会・
関西盲導犬協会・日本ライトハウス・兵庫盲導犬協会・九州盲導犬協会

住友生命「アシスタントドッグ育成支援事業」について

住友生命では、身体に障がいを持つ人の社会参加を応援するため、社会的な認知が低く数も少ないアシスタントドッグを平成13年から支援している。

- ・平成13年～平成18年 「アシスタントドッグ育成普及委員会」を設置して事業を実施
- ・平成14年～平成19年 AGBNへの支援
- ・平成26年3月 「身体障害者補助犬健康管理手帳」の寄贈

1. 「アシスタントドッグ育成支援事業」概要

獣医学・福祉・法律の専門家などの有識者で構成する「アシスタントドッグ育成普及委員会」を設置し、課題解決に向けた支援事業を実施。

●啓発活動

アシスタントドッグの認知度を高め「身体障害者補助犬法」を広く理解いただくためにビデオ・冊子・ポスター・絵本等を制作し、県庁や図書館、学校等に寄贈。また、啓発イベントや講演会等を開催し、当社職員がボランティアとして参加する機会も創設。

●育成システムの支援

アシスタントドッグを訓練するトレーナーを対象としたセミナーの開催、奨学金制度、AGBNの活動支援を実施。(下記2)

2. AGBNの活動支援 ～イギリスからの新しい血統の子犬誕生～

「子犬の不足」や「血統的な行き詰まり」という課題解決のため、日本・韓国・台湾の盲導犬育成施設が設立した組織「AGBN」(アジア・ガイドドッグス・ブリーディング・ネットワーク)の活動支援を実施。特に最先進国イギリスから新しい血統を導入する事業に協力。

3. 「身体障害者補助犬健康管理手帳」寄贈 2,000冊を全国盲導犬施設連合会へ寄贈

以上